

電源コード断線による事故防止について

平成21年4月から12月までの間、電源コード断線による負傷や出火などの事故が48件も発生しており、近年、事故件数が著しく増加しています。

電源コードは、ほとんどの電気製品にあります。火源や熱を発する部分でないため、見た目には危険を感知しにくい部分ですが、使用方法を間違えると断線が起こり、火災事故に至る可能性があります。

事故を防止するため、次の点に注意して正しく使用してください。

—注意点—

- ・ コードに記載されている定格電流を超えるようなたこ足配線をしないでください。
- ・ コードを曲げたり、ねじったり、ドアなどに挟み込んだ状態で使用しないでください。
- ・ コードを束ねたまま使用しないでください。
- ・ コードの上にものをのせないでください。
- ・ コンセントの抜き差しでは、コードを無理に引っ張らないでください。
- ・ コードリールやテーブルタップを使用するときは、製品の消費電力を十分に把握して使用してください。

延長コードを束ねた状態で、ホットプレートを使用したところ、約25分後に束ねたコードの部分から発火した状態です。

